

こんにちは森林官です!

日高南部森林管理署
三石森林事務所
森林官 大谷 祐司



(写真左が森林官)



管内の「紹介」

三石森林事務所は、南北に連なる日高山脈のほぼ中央部、三石川、鳧舞(けりまい)川の upper 部に位置する国有林、約11千ヘクタールを管理しています。

森林事務所が所在する新ひだか町は、平成18年「静内町」と「三石町」が合併し誕生しました。

ミツイシコンブ(通称:日高昆布)が有名で夏には浜一面に昆布が天日干しされ、旨味が凝縮した高品質の製品がつくられています。

また、日本の道百選にも選ばれた静内の二十間道路桜並木も有名で、毎年開催される桜祭りは、例年15万人以上の観光客で賑わいます。



(二十間道路桜並木)

森林官の仕事

当森林事務所は私と行政専門員1名の計2名が在籍。多種ある仕事のうち3つ紹介します。

① エゾシカ影響調査
近年エゾシカが増え、林業被害が増大しています。森林に対するエゾシカの影響調査を進めることで今後の対策に役立てています。



(エゾシカの角こすり痕)

② 素材生産事業

国有林の森林整備の一環として、請負により立木を伐採し、素材(丸太)に加工する業務の監督をしています。各種林業機械を活用



(土場での仕分け作業)



(銘木市出品材)

③ 造林事業

請負による植栽、下刈り、つる切り等を実行する事業の監督をしています。

し、森林作業道の作設、立木伐倒、枝払い、玉切り、集材、土場で仕分け販売します。中でも、広葉樹の優良丸太は銘木市に出品し出来るだけ高く販売できるように努めています。

結びに

ます。未来の健全な森林づくりのための大切な業務です。

今後、国有林の森林資源量は増える見込ですが無限にあるわけではないので大切に活用することが大事です。

また、水や空気をきれいにし、山崩れを防ぐ、動物が住みやすくなるなど多様性のある森林づくりにも思いをはせ、日々、山の中をかけ回っています。



(仕事中发现したキタキツネ)